

# 改めて、沖縄問題を考える —沖縄の自己決定権とは—

■講師 新垣 毅氏 (琉球新報編集局政治部長)

■日時 5月26日(土) 15:30~17:00

■場所 オルタナティブ生活館 スペースオルタ



第20回定期総会記念講演は、沖縄の琉球新報のジャーナリスト新垣毅さんをお迎えし、沖縄問題を取り上げます。

私たちの住んでいる神奈川県は、厚木(綾瀬・大和)や横須賀をはじめ多くの米軍基地を抱え、米軍機による騒音問題や原潜・原子力空母寄港問題、米軍住宅建設問題、米兵による事件・事故、過去には米軍機墜落事故など、様々な問題に直面してきました。

しかしなんといっても沖縄の問題は、国土面積が0.6%の中に、在日米軍専用施設の実に70.4%が置かれている現実です。1879年の琉球処分から第2次大戦での沖縄戦の犠牲、戦後の米軍統治、復帰後の基地負担増等、沖縄の人々はその歴史を、人権や自己決定権、民主主義が軽視されてきた歴史であるとし、沖縄のアイデンティティはどこにあるのかと怒っています。また、この2月に行われた名護市長選では、辺野古への基地移設に反対する現職が、政権の押す新人に敗れ、移設工事の加速が懸念される事態ともなっています。これを民主主義と地方自治の敗北としてよいのでしょうか。そのためにも、基地が置かれているがゆえの人々の負担や犠牲を、まずは知ることが必要です。



総会記念講演は、沖縄の自己決定権を自身の課題とされている新垣さんに講演いただき、沖縄問題の核心を共有したいと考えます。どなたでもご参加いただけます。お問い合わせで多数ご参加ください。

お問い合わせ 参加型システム研究所 事務局 林田

Tel.045-222-8720 Fax.045-222-8721

e-mail [sanka@systemken.org](mailto:sanka@systemken.org)

## 参加申込書

Fax またはメールでお申込み下さい。(5/21 締切)

お名前	
所属	